

平成30年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成30年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」(平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知)別紙3の第10の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市 町 村	事業実施主体名	事業実施段階			評 価	評 価 コ メ ン ト
			H28	H29	H30		
新潟県	魚沼市	魚沼市	●	●	■	B	目標をおおむね達成することができた。この事業において雇用された方が、個人事業主として開業しており地域にとってとても良い取り組みができたと考えます。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第10の1の規定に基づき、第三者である平井正尚氏から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

平井 正尚

【意見聴取の概要】

素材生産から加工・販売を行っている創業者の研修では、大白川生産森林組合の理事らも参加しており、ブナ活用に可能性を感じ素材生産に意欲をもったようである。外部パートナーを交えての販売戦略会議においては、販売方法・販売先等についての検討を行っておりいずれも地域の関係者や製造・販売する方々の参考になる良い取り組みであった。

3年間この交付金事業に携わった方が、大白川地域においてブナ、杉を材料とした木製品の製作や木工体験などの事業展開をしたいと「個人事業主として開業した」ことは、素晴らしい成果であった。